

水産業の復旧状況

水産業は、漁業者の減少と高齢化、海洋環境の変化などを背景とした水産資源の減少、加工原魚の不足など、取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。市では、関係機関・団体と一丸となって水産業の一層の振興に全力で取り組んでいます。

■市営漁港の整備状況

市営漁港は、全施設が供用開始されており、市管理の海岸防潮堤は、令和2年1月末現在、全7防潮堤のうち4カ所（吉浜、野野前、碁石、泊里漁港）が完成し、残る泊、小石浜、蛸ノ浦は、令和2年度の完成予定となっています。県所管の全5防潮堤のうち越喜来、門の浜漁港防潮堤が令和元年度に完成し、残る崎浜、綾里、大船渡漁港防潮堤は、現在工事を進めています。

■魚市場の水揚げ状況

平成31年1月から1年間の水揚げ状況は、震災前5年平均と比較し、水揚げ数量は67・3%、水揚げ金額は86・7%となっており、主要魚種であるサンマ、サケ・マス、サバの水揚げ数量が著しく減少している状況です。

▷魚市場の水揚げ状況◁ 【単位 数量：トン 金額：百万円】

項目	平成31年1月～令和元年12月		震災前5年平均		比較	
	水揚げ数量	水揚げ金額	水揚げ数量	水揚げ金額	水揚げ数量	水揚げ金額
水揚げ全体	38,019	5,537	56,522	6,390	67.3%	86.7%
項目	平成31年1月～令和元年12月		震災前5年平均		比較	
	水揚げ数量	水揚げ金額	水揚げ数量	水揚げ金額	水揚げ数量	水揚げ金額
サンマ	6,449	2,029	25,100	1,809	25.7%	112.2%
サケ・マス	110	96	3,746	1,439	2.9%	6.7%
サバ	7,857	708	8,948	551	87.8%	128.5%

▽問い合わせ先

水産課（☎内線371）

被災事業者の支援

東日本大震災により被災した事業者は、国と県が実施する中小企業等復旧・復興支援補助事業（いわゆるグループ補助金）をはじめとする各種補助制度や融資制度の活用のほか、市が実施する中小企業被災資産復旧費補助事業（被害を受けた施設・設備の復旧費用に対する補助）を活用することで、事業の本設再開を果たしてきています。

▽問い合わせ先

商工課（☎内線109）

中小企業被災資産復旧費補助事業の活用実績（令和2年1月末現在）

年度	件数	交付決定額
平成24～29年度	134件	3億8,870万円
平成30年度	4件	925万円
令和元年度	2件	1,501万円
合計	140件	4億1,296万円

地域経済の活性化を目指して

震災後の地域経済は、主に各企業による経営努力の積み重ねと震災復興にかかる各種事業の推進により支えられてきましたが、今後は復興需要の収束や人口減少など社会情勢の変化により、地域経済の先細り感が懸念されています。このような中、将来にわたって地域経済の好循環を生み出していくためには、地場資本の市内企業による成長発展が重要であり、時代の変化に対応し、新しい発想と行動力を持つ、リーダー人材の成長が必要とされています。

ビジネスアカデミーの開催費用の一部を補助しています。これまでの7カ年で57名の卒業生・修了生を輩出し、各方面で活躍しており、引き続き将来の地域経済を支える人材の育成支援を進めていきます。

▽問い合わせ先

起業支援室

（☎内線105）

市では、こうした地域リーダーや次代を担う若手経営者や後継者などの成長の場として、平成25年度から経済同友会東北未来創造イニシアティブの主宰する「未来創造塾」への運営支援のほか、平成29年度から大船渡商工会議所が実施する「大船渡



第3期ビジネスアカデミー修了生